



# 最近の日本と世界のシェアサイクル事情

2019.7.5 (株)ドーコン 小美野智紀

# めまぐるしく変わるシェアサイクル事情

我が国におけるシェアサイクルの本格的な実施から  
約10余年。世界的にも15年前後。

現在世界1000を超える都市で導入。

# 2014～2016年の世界のトレンドは…

- ✓ ロンドンのサイクルハイヤーが「ボリスバイク」として脚光を浴びる
- ✓ ニューヨーク等でスタート。話題になる。
- ✓ パリのヴェリブが全盛期
- ✓ 台北のYoubikeがすい星のごとく出現。爆発的な利用増加で話題になる。



導入＆利用促進競争期

# 2014～2016年の世界のトレンドは…



ロンドン(イギリス)／サイクルハイヤー

# 2014～2016年の世界のトレンドは…



パリ(フランス)／Velib'

# 2014～2016年の世界のトレンドは…



台北(台湾)／Youbike

# 2014～2016年の世界のトレンドは…



台北(台湾)／Youbike

# 2014～2016年の日本は…

シェアサイクルの導入都市数 85(2016年)

東京都心部で社会実験スタート

ただし、区ごとに実施

→2016年2月から広域相互利用開始

# 2014～2016年の日本は…



# 2014～2016年の日本は…



# 2017～2018年の世界のトレンドは…

事業スキームにも変化が…

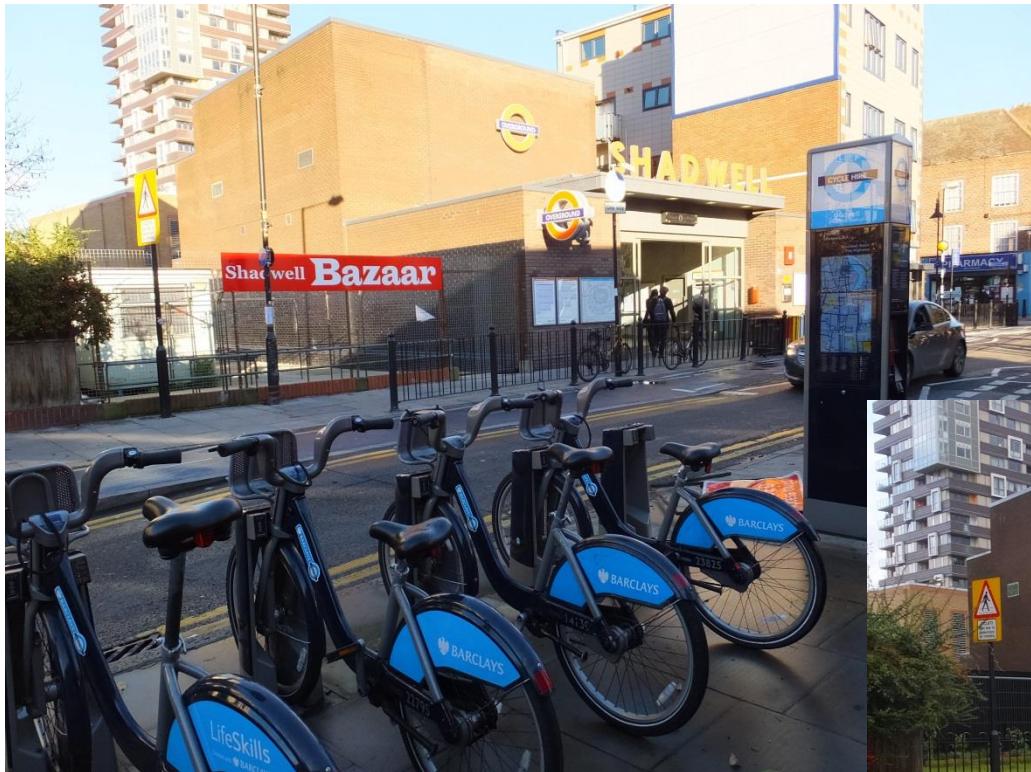
→契約切り替え、ネーミングライツの変化

# 2017～2018年の世界のトレンドは…

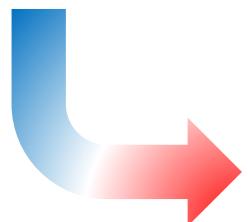


ロンドン(イギリス)／サンタナーテールサイクルハイヤー

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



ロンドン／サイクルハイヤー



# 2017～2018年の世界のトレンドは…

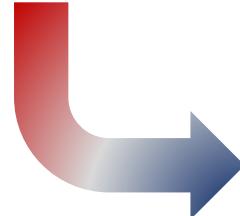


ベルリン(ドイツ)／NEXT BIKE

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



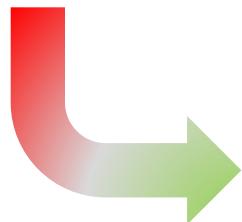
ベルリン  
Call a Bike→NextBike



# 2017～2018年の世界のトレンドは…



ベルリン  
Call a Bikeも変化



# 2017～2018年の世界のトレンドは…



パリ(フランス)／Velib'

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



パリ  
Velib' → Velib'



# 2017～2018年の世界のトレンドは…

ドックレス型(フリーフロー型)シェアサイクルが世界を席巻。

⇒中国だけではなく、米国やシンガポールからも発現。

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



# 2017～2018年の世界のトレンドは…



アムステルダム／Flic bike(オランダ)

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



アムステルダム(オランダ)／obike(シンガポール)

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



高雄(台湾)／vbike(アメリカ)

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



台北(台湾)／obike(シンガポール)

# 2017～2018年の世界のトレンドは…



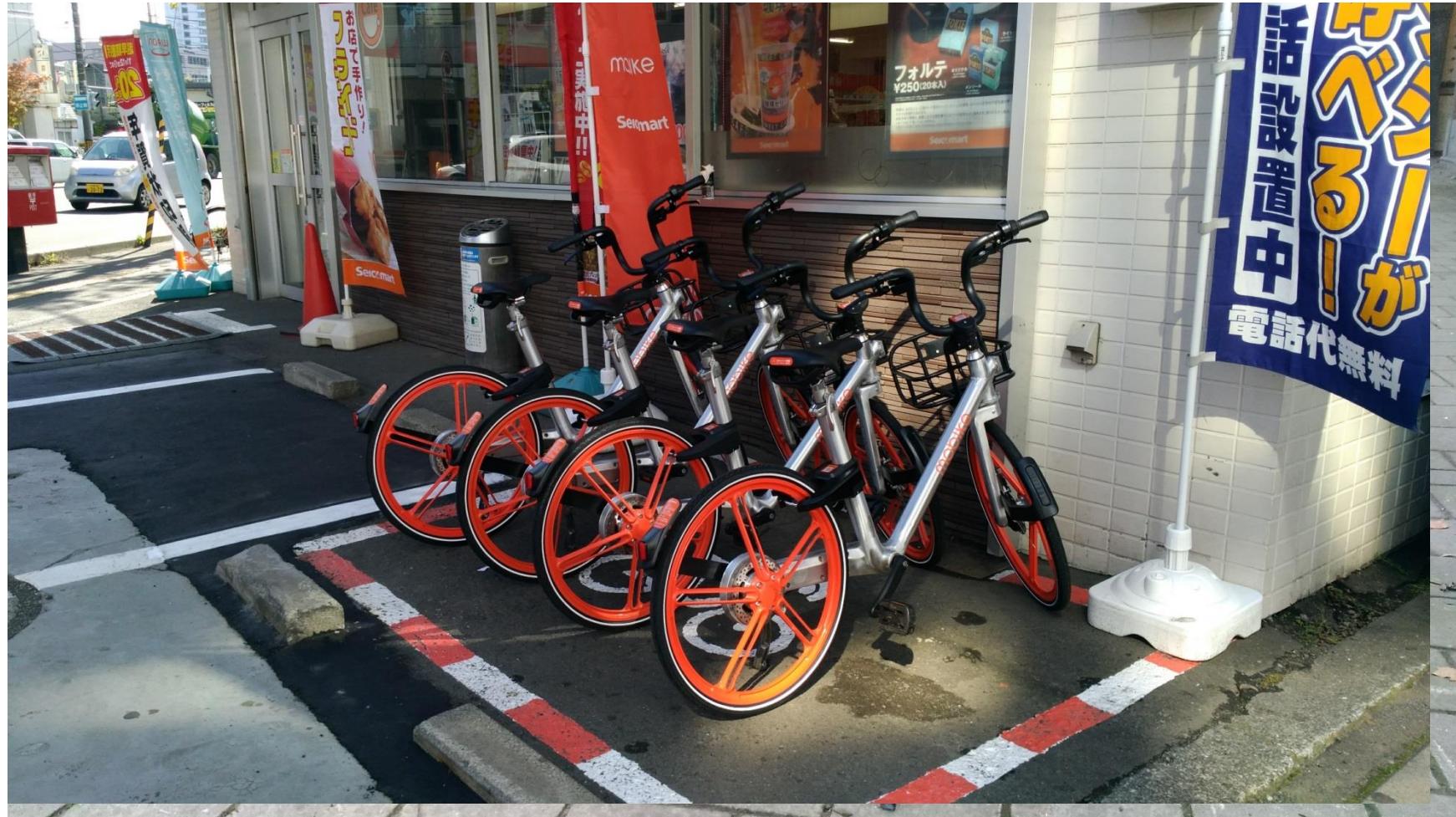
ベルリン／Donkey Republic(デンマーク)

# 2017～2018年の日本は…

ドックレス型(フリーフロー型)シェアサイクルが日本  
進出

日本発のシステムも多数誕生し、一気に普及

# 2017～2018年の日本は…



Mobike/札幌市

しかし、2018年後半から雲行きが…

# しかし、2018年後半から雲行きが…

フリーフロート(ドックレス)型シェアサイクルのビジネスモデルに変化？



従前は…

安い自転車を大量投入し、再配置などをせず新車をどんどん投入

しかし、2018年後半から雲行きが…



シンセン(中国)

しかし、2018年後半から雲行きが…



シンセン(中国)

# しかし、2018年後半から雲行きが…

ドックレス型(フリーフロー型)シェアサイクルの放置問題が顕在化(2016年ごろより)



規制強化:シンガポール・中国・マレーシアなど  
放置自転車対策の実施:台湾など



これらへの対応による投資や、新たな取り組みの実施等  
⇒事業採算性への影響などから撤退が相次ぐ

我が国でも大津、和歌山、北九州などで撤退

しかし、2018年後半から雲行きが…



パリ

しかし、2018年後半から雲行きが…



ハンブルク

# しかし、2018年後半から雲行きが…

ドックレス型では「勝ち組／負け組」が明確に

増殖？	生き残っている が…	衰退？
JUMP(Uber)	mobike	Obike
Lime		ofo
		Vbike

その違いが今年以降のトレンドに反映(?)

# 2019年のトレンド？

E-Bikeシェアリングの導入・利用活発化



フリーフロート型やドックレス型シェアサイクルに  
E-Bikeシェアリングが増加

# 2019年のトレンド? E-BIKEシェアリングの進出・増加



# 2019年のトレンド? E-BIKEシェアリングの進出・増加



# 2019年のトレンド？

E-Bikeシェアリングの本格普及

新規参入する民間サービスでE-Bikeを採用



行政主導で行われている各地のサービス(Public Bike Share)でもE-Bike採用が本格化

# 2019年のトレンド? E-BIKEシェアリングの進出・増加



パリ/Velib'

# 2019年のトレンド? E-BIKEシェアリングの進出・増加

ニューヨークも電動バイクを導入

The screenshot shows the top navigation bar of the Citi Bike website with links for Home, News & Events, FAQ, Maps & Plans, Resources, Suggest a Station, and Dockless Pilot. Below the navigation, a breadcrumb trail indicates the user is on the 'News and Events' page, specifically viewing information about '4,000 Electric Bikes and 13 New Stations for Citi Bike'. The main headline is '4,000 Electric Bikes and 13 New Stations for Citi Bike.' A paragraph of text explains the rollout plan, mentioning the addition of 4,000 electric bikes and 13 new stations, along with the introduction of electric bikes for members of Reduced Fare Bike Share. A link to Citi Bike's Press release is provided. At the bottom of the page is a photograph of a row of blue Citi Bike electric bicycles parked on a city street.

News and Events / 4,000 Electric Bikes and 13 New Stations for Citi Bike.

## 4,000 Electric Bikes and 13 New Stations for Citi Bike.

Starting today, Citi Bike will be adding 4,000 electric bikes over the coming months. When this rollout is complete, approximately one-third of all Citi Bikes in the fleet will be electric. In addition, Citi Bike is currently adding 13 new Citi Bike stations to its busiest areas, and 2,500 more docks to existing and new stations as a part of the NYC DOT & Citi bike "infill plan".

Starting on April 27<sup>th</sup> 2019, it will be an additional \$2 per ride to use an electric Citi Bike. For members of Reduced Fare Bike Share, it will be an additional \$.50 per ride.

For more information, please read [Citi Bike's Press release](#).



# 2019年のトレンド？

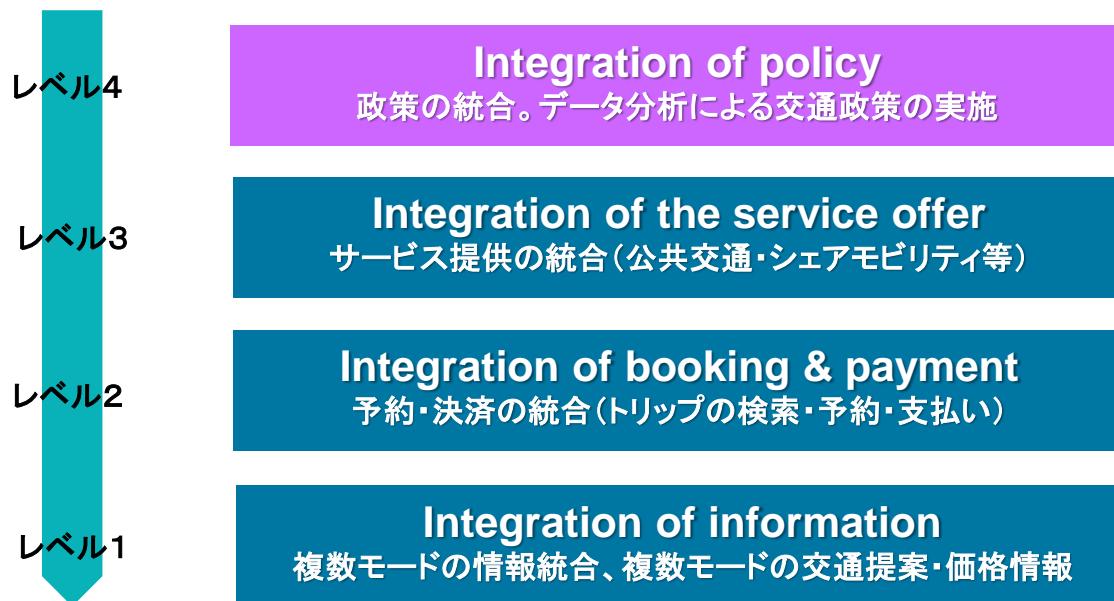
MaaS(Mobility as a Service)を見据えた動き

# 2019年のトレンド？

## MaaSとは？

MaaSとは、様々な交通サービスを需要に応じて利用できる一つの移動サービスに統合すること  
(ITS世界会議2015年)

MaaSに向けた統合にはレベルがあり、レベル1からレベル4まで存在。



# 2019年のトレンド？

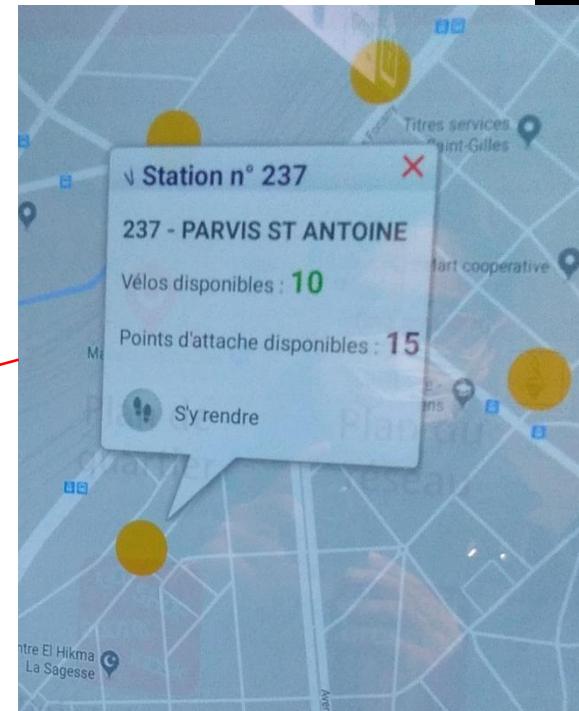
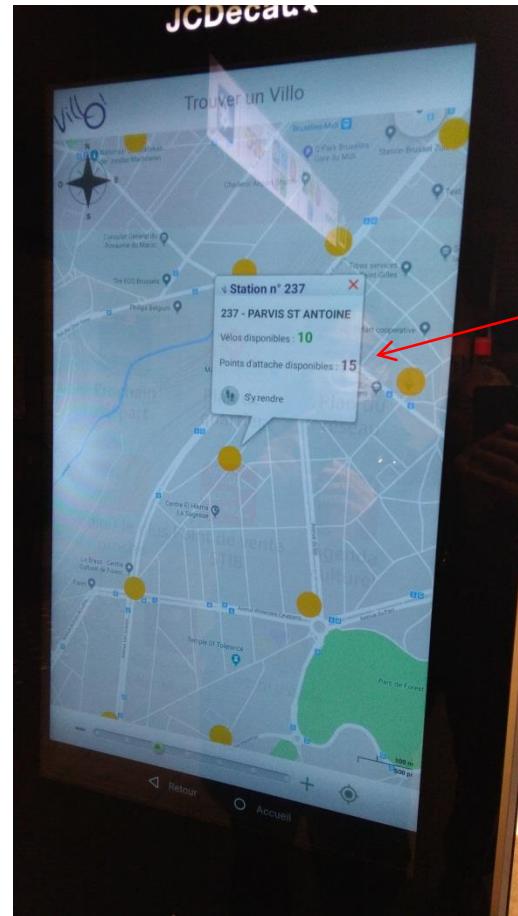
## 情報の統合(レベル1)

世界的に進展…シェアサイクルもその一部に

経路検索、情報提供サービスにシェアサイクルを組み込み

# 2019年のトレンド？

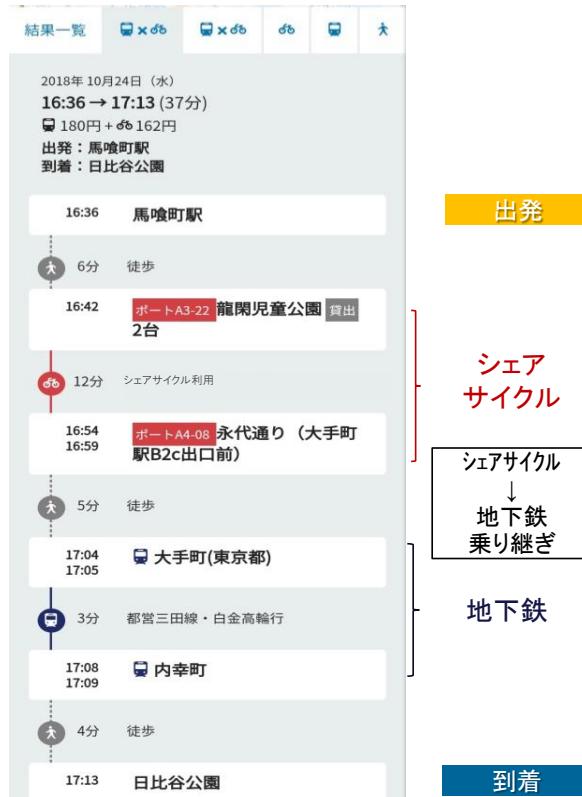
## ■公共交通と合わせた情報の提供



ベルギー/ブリュッセル

# 2019年のトレンド？

## ■国内では経路検索サービスへの組み込みを実施



# 2019年のトレンド？

新たなライバルか？共存相手か？

→電動スクーターシェア

電動キックボードシェア

# 2019年のトレンド？



シェアサイクルと同じアプリで貸し出し可能

パリ/Lime

# 2019年のトレンド？

シェアサイクルもシェアモビリティの一つとして、多様な交通手段から選択されるモードになる必要

公的サービスと民間サービスの「すみわけ」が明確になっていくのではないか？

- 「安価で面的に広がる公的サービス」
- 「少し値段は高いがE-Bikeなどを利用した民間サービス」